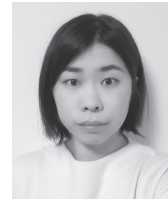




女性技術者の紹介

技術者として10年

株式会社 NJS / 水道本部 / 水道1部 福島侑子



1. はじめに

私は2011年4月に日本上下水道設計株式会社（現株式会社NJS）へ入社以降、水道の業務に携わってきました。入社当初は東京配属、その後2016年度に公益財団法人水道技術研究センター（JWRC）へ2年間出向した後、札幌へと転勤となり、今年で4年目となります。2019年度に産休育休のため約1年間業務から離れましたが、今年で経験年数10年目を迎えました。JWRC出向中に技術士を取得し、現在は管理技術者の立場としての業務も少しずつ増えてきています。

さて、この執筆依頼を頂いてから何をテーマとすべきか悩みましたが、札幌に来てからの4年間は、公私ともに変化が大きく、管理技術者としての仕事の進め方、仕事と子育ての両立等、ワークライフバランスについても考えたり、悩んだりすることも多かったことから、北海道での業務を通じた経験や感じたこと、また、休日の過ごし方などについて、紹介したいと思います。

2. 北海道での現在の業務

札幌転勤になって驚いたことは、北海道の広さです。北海道には、179市町村があり、水道事業では上水道事業、簡易水道事業、用水供給事業合わせて約300の事業があります。担当している自治体の中には、札幌から電車で最寄り駅まで3時間、さらに車で2時間弱、計5時間かかるといったところもあり、業務を通じて、北海道の広さを痛感しました。

転勤してからは、主に水道の計画業務に携わっており、最近では、経営戦略の作成、水道法の改定により義務化された水道台帳の作成、令和6年度までの企業会計移行に向けた簡易水道事業の移行支援業務（固定資産評価）のような業務が多くなっています。経営戦略や企業会計移行業務などの企業会計に関する業務について、初めころは苦手意識があり、企業債？減価償却？といったところからスタートしました。現在では、基本的なところは理解したつもりですが、質問されると、はて？となることもあり、まだまだ勉強が必要だと感じています。

また、北海道でも広域化、PPP/PFI導入検討、ICT活

用等の検討業務が増えており、このようなあらゆる業務に対応していくためにも常に新しい知識の習得など、研鑽を積む必要があると感じています。

転勤して1年目の時にDBM方式による浄水場更新のための、事業スケジュールの検討や公募書類案の作成支援業務を担当しました。経験豊富な先輩社員から指示を受けながら他事例の資料整理などから作業を進めましたが、これまで経験したことがなく、初めて調べる内容が多かったため、どのように業務を進めてよいのか悩み、時間を費やしたことを覚えています。業務の途中で産休に入ったため、最後まで携わることはできませんでしたが、これまでのような定形的な設計業務とは異なり、今後は官民連携業務などの新しいあらゆる業務に対応していく必要があると感じた業務のひとつです。

3. 育児休暇からの復帰

2019年度に約1年間の育児休暇を取得しました。取得前は、残業は当たり前で定時退社はほとんどできていなかったように思います。ワークライフバランスを意識していなかった訳ではないですが、仕事の進め方も計画的に業務を進めるというよりも、要求事項や検討事項が多い業務などに時間を費やしてしまい、滞っている業務があれば残業して対応しようといった考え方をしていました。このように残業時間も多いうえに加えて、遠方の事業体への出張は長時間を要することから、子育てと仕事の両立ができるか不安もありましたが、復帰後は仕事量や進め方を上司に相談したり、会社としても「在宅勤務」や「テレビ会議」の環境を整えてくれていたり、これらのツールを活用しながら、両立を図ることができています。これらのツールに頼るだけではなく、計画的な仕事の進め方を意識し、より良いワークライフバランスとするためにも自分なりの働き方を見つけていきたいです。

4. 休日の過ごし方

さて、ここからは、北海道に来てからの休日の過ごし方について記述したいと思います。転勤してからの休日

は、道内の道の駅をめぐる「道の駅スタンプラリー」を家族と行っています。道の駅は、道内に128駅（2021年11月現在）存在しており、各市町村の名産品や地元の野菜などが置いてあったり、広い公園や温泉が併設されていたりと、地域によって様々な特徴のある施設となっています。スタンプブックも販売されており、1年間ですべてを回ると豪華賞品に応募することができるようになっていますが、私たち家族は、4年間かかって半分ぐらい回れたかなといったところです。現時点で行って良かったところ、印象に残っているところについて紹介します。

(1) サーモンパーク千歳（千歳市）

サーモンパーク千歳は、新千歳空港からも近く、札幌から高速に乗って1時間弱のところにあります。駅には、レストランや小さな子でも遊べる室内外の遊具もあります。また、サケの展示をメインにした千歳水族館も隣接しており、子供連れでもうれしい施設です。そのため、何度か訪れているのですが、先日行った際には千歳川を鮭が遡上しているところを目のあたりにしました。何百何千匹と群れになり、堰を飛び越えようとして傷だらけになっている鮭もいました。市街地で自然のダイナミックさを実感できることに驚いたともに、命を懸けて遡上する姿を見て、とても感動しました。

(2) ガーデンスパ十勝川温泉（音更町）

この道の駅は2020年7月22日にオープンしたとても新しい施設です。札幌から200kmほど離れており、車で3時間ぐらいのところに位置しています。売店やレストランがあるのももちろんですが、水着で入れるモール温泉や足湯などもあり、長距離のドライブ疲れを癒してくれるような施設となっていました。道の駅から約2kmのところ十勝エコロジーパークというキャンプ場や大自然の大きな遊び場もあるようですので、子供が大きくなったら、キャンプもしつつ、温泉や足湯に入り、もう一度行ってみたいと思う施設です。



写真-1 千歳水族館

(3) 今後の野望

最後は道の駅の紹介ではありませんが、道内にいる間に流水を見てみたいと思っています。流水が来るシーズンは、コンサルタントの業務も繁忙期になる季節ですが、仕事の合間を見つけて、いつか行ってみたいと考えています。いつになるか分かりませんが、その時に合わせて、現在は遠くへ行けていないオホーツク圏内にある道の駅にも行き、全ての道の駅を制覇してみたいです。

5. おわりに

水道のコンサルタント技術者として、10年間経験を積んできましたが、まだまだ知識不足のところも多く、また、新しい業務へのチャレンジも求められることから、常に勉強していく姿勢が大切だと感じています。しかし、出産を経て復帰してからは、業務以外で勉強する時間を割くことが難しくなっています。そのため、担当する業務を通じて、柔軟に知識を積み上げていき、客先からも社内からも信頼される技術者を目指していきたいです。

最後に、10年前の入社当時、業務内容やOSの進化等によって働き方が急激に変化していると先輩方から伺ったことがあります。当時はその話を聞いてもピンときませんでしたが、私がコンサルタント技術者として従事した10年を振り返ると、業務内容の変化や、ワークライフバランスが掲げられ働き方改革の推進等により、労働環境が常に変化しているように感じます。直近では、新型コロナウイルスの影響でテレワークの推奨やテレビ会議の拡充など社会全体の働き方も大きく変化しています。良い面ばかりではないかもしれませんが、昔に比べて女性技術者にとって働きやすい環境が整ってきているのかなとも感じます。社会全体が今後どのように変化していくか予想できませんが、仕事もプライベートも環境の変化に柔軟に対応し、楽しみながら自分自身も進化していきたいなと思います。



写真-2 鮭の遡上の様子